

近畿地方整備局大阪国道事務所
資料配付

配布日時	平成20年12月16日 17時
------	--------------------

件名	国道43号伝法大橋耐震工事による白い浮遊物について ～水質に影響はありません～
----	--

概要	本日、1級河川淀川に架かる国道43号伝法大橋で、耐震工事施工中に白い浮遊物がみつかりました。段差防止部材を下部工に取り付ける際のコンクリートのはつり・整形をサンダーにて実施中に、削り取ったコンクリート粉が強風に煽られて河川内に落下し白い粉が浮いた状態となりました。直ちに水質試験を行ったところ、PHが7.5、SSが1と問題はありませんでした。直ちに工事を中止し、飛散防止対応策について検討中です。
----	--

取り扱い	—
------	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-----------------------

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 副所長 山下 一郎 (内線204) 管理第二課長 中村 香澄 (内線441) 電話：06-6932-1421 (代表)
--------	--

(平成20年12月16日 14時00分現在)

国道43号伝法大橋耐震工事による白い浮遊物について  
～水質に影響はありません～

1. 事故発見

本日10時頃、淀川に架かる43号伝法大橋下流で白い粉が浮いていると、淀川河川事務所の河川巡視船より連絡がありました。

2. 水質事故の状況

43号伝法大橋の耐震工事において、淀川のほぼ中央部に位置する橋脚コンクリートのはつり・整形をサンダーにて実施中に、削り取ったコンクリート粉が強風に煽られて河川内に落下し白い粉が浮いた状態となりました。

白い粉は、幅2m長さ40mの帯となって河口に向かって流出していることを施工業者が確認しました。

3. 事故対策

11時30分頃、浮遊物の箇所でも水質検査を実施し、PHが7.5、SSが1の検査結果を測定し、水質に異常がないことを確認しました。

また、耐震工事の施工を中止し、強風下でもコンクリート粉が飛び散らないよう飛散防止の処置を検討中です。

4. その他

上記については、河川管理者へも連絡を行っており、現在のところ水道取水への影響は確認されていません。







